

<環境部局>

国立環境研究所（霞ヶ浦 '77～，摩周湖 '94～）
摩周湖環境保全連絡協議会（摩周湖 '18～）
北海道（石狩川 '93～）
滋賀県琵琶湖環境科学センター（琵琶湖 '92～）
徳島県立保健製薬環境センター（吉野川 '92～）
高知県衛生環境研究所（四万十川 '92～）
福井県衛生環境研究センター（三方湖 '73～）
宮城県保健環境センター（旧北上川 '92～'01）
福岡県保健環境研究所（筑後川 '92～'03）
熊本県保健環境科学研究所（球磨川 '92～'01）

<水道部門>

札幌市水道局（豊平川 '79～）
さいたま市水道局（土合浄水場 - 地下水 '79～）
東京都水道局（利根川，杉並浄水所 - 地下水 '79～）
横浜市水道局（寒川 '79～）
神奈川県内広域水道企業団（相模湖，弁天橋 '20～）
新潟市水道局（信濃川 '92～）
名古屋市上下水道局（木曽川 '79～）
大阪市水道局（淀川 '79～）
広島市水道局（太田川 '79～）



<問い合わせ先>

GEMS/Waterナショナルセンター事務局

E-mail : gems@nies.go.jp

TEL : 029-850-2415

〒305-8506つくば市小野川16-2

国立研究開発法人 国立環境研究所

生物多様性領域 内

2022.2.16



UNEP GEMS/Water ナショナルセンター

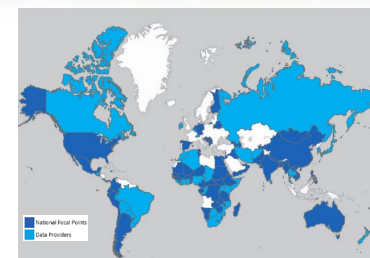


■GEMS/Waterとは？

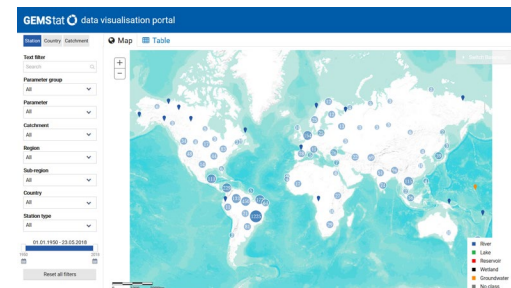
私たちが飲料水や農業用水として利用している河川，湖沼，地下水など、塩分を含まない水を淡水と言います。淡水は，私たち人間のみならず，陸上で暮らす動物や植物にとっても欠かすことのできない資源です。そこで，世界の淡水の水質を監視するために，国際連合環境計画（UNEP）や世界保健機関（WHO）などの国際機関が中心になって，1977年に世界規模での淡水の水質観測ネットワークを作りました。これが，GEMS/Water（Global Environment Monitoring System for freshwater（地球環境監視システム / 陸水監視部門））です。

GEMS/Waterの協力国は世界75ヶ国におよび，5,700地点以上において300項目の水質を監視しています。これらの協力国から収集された700万件に及ぶ膨大なデータは，GEMS/Water Global Data Centerで集約され，データベース化されます。データベース化された水質データは，国際水質データベース **GEMStat** から閲覧することができます（2022.2.16現在）。

<https://www.unep.org/explore-topics/water/what-we-do/monitoring-water-quality>
<https://gemstat.org/data/data-portal/>



GEMS/Water協力国（2021年時点）



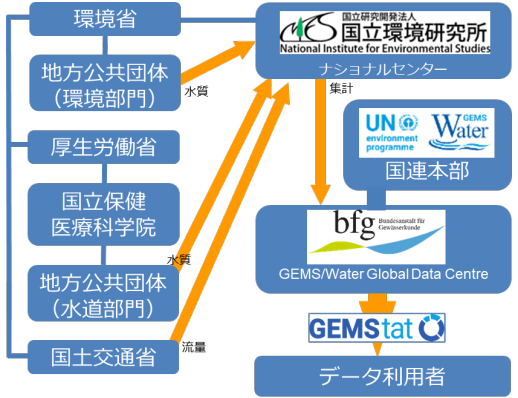
国際水質データベースGEMStatの画面

■GEMS/Water Japan（ナショナルセンター）について

日本においては、GEMS/Water発足当初、ナショナルセンターが国立公衆衛生院（現・国立保健医療科学院）に置かれ、1979年より水道事業体の原水監視データの提供が開始されました。その後、GEMS/Waterの長期計画は、衛生面のモニタリングから環境面へのモニタリングを重視するものになりました。このことから、ナショナルセンターは1994年に国立環境研究所・地球環境研究センターに移管され、地方自治体環境部局からの水質データ提供も開始されました。ナショナルセンターは、2011年より同研究所の生物・生態系環境研究センター、2021年より同研究所の生物多様性領域が担当しています。

■日本の活動

日本では、都道府県の環境部局や地方自治体の水道局などの機関により、河川・湖沼・地下水などの水質観測が行われています。ナショナルセンターはこうした観測点で蓄積されたデータの提供を受け、集計を行ったうえで、ドイツのGEMS/Water Global Data Centre（データセンター）に送っています。



■データの利用について

GEMStatに登録されている水質データは、無償で入手することが可能です。データの利用を希望される方は、ご所属と利用目的等を明記の上、ナショナルセンター（gems@nies.go.jp）までお気軽にご連絡下さい。

■日本国内のGEMS/Water登録ステーション

